

発達支援センター通信

◆野洲市発達支援センター TEL587-0033、FAX587-2004

広報「やす」:2023年1月号掲載

やすしはったつしえん ばしよ 野洲市発達支援センターの場所はどこ？

やすしはったつしえん げんざいあた けんちくちゆう ばしよ いま はったつしえん
野洲市発達支援センターは、現在新しいセンターを建築中です。場所は、今の発達支援
センターの隣、今年の夏ごろに完成予定です。

ところで、みなさんは、野洲市の発達支援センターの場所をご存知ですか？ご存知ではな
い方もおられると思います。相手が知らない場所を説明する際に、いくつかの方法があります。
まずは、地図です。最近では、携帯の地図情報をもとに、目的地を探す方も多いでしょう。しか
し、電話で場所を説明する際は、地図を広げて説明することができません。そこで、電話で
説明するときには、言葉で道順を伝えることになります。例えば、発達支援センターなら「市
役所の前の通りを近江八幡方面に向かって、400メートルほどいった左側にある建物」とい
う感じです。

場所を聞く際に、みなさんは、どちらが分かりやすいですか？『地図を見ると分かるタイプ』
『道順を聞くと分かるタイプ』。中には、どちらでも分かる、という方もいるでしょう。物事のわ
かり方（認知の仕方）にはタイプがあり、『地図を見ると分かるタイプ』は『同時処理』タイプ、
『道順を聞くと分かる』のは『継次処理』タイプと言われます。どちらのタイプが優れている、
ということではなく、タイプによって得意な方法が変わってきます。『同時処理』タイプは、まず
全体を把握してから、細部を認識していくことが得意なタイプです。最初に目的を伝えられる
と、理解がはやいです。『継次処理』タイプは、一つずつ物事を順番に考えていくことが得意
なタイプです。手順書があると、一つずつ手順をすすめることができます。

私たちは、知らず知らずのうちに、自分の得意な方法で、伝えてしまいがちです。しかし、
親子やきょうだいでも、得意な認知の仕方（タイプ）が違うこともあります。とくに発達障がい
の特性がある場合、この認知の仕方には偏りがある方が少なくなく、どちらか一方の伝え方
では、まったく分からない、ということが起こります。相手が理解しやすい方法を知り、それに合
わせた方法で伝えることが大切です。また、授業や説明など多くの人に伝える必要があると
ときには、どちらのタイプの人にも伝わる説明をすることを意識するといいですね